

教育課程

教育課程表の読み方

現代コミュニケーション学科の教育課程(カリキュラム)は、共通科目(キリスト教科目、教養科目、健康科目)、専門科目(言語コミュニケーション、心理社会コミュニケーション、コミュニケーション・スキルズ)に分けて示されている。

学生は、卒業に必要な単位数(p. 2)を参照しながら、各自の学修目的が出来るだけ実現するように授業科目を選択し、履修登録を行う。

教育課程の履修上の注意は、それぞれの教育課程表の前に記されているのでよく読むこと。

教育課程表の表記

科目番号	授業科目には科目番号がついている。 共通科目：7001～ 幼児教育科専門科目：3001～ (開放科目のみ履修可) 現代コミュニケーション学科専門科目：8001～
ローマ数字	授業科目名の後に記されたⅠ、Ⅱのローマ数字は、授業科目の程度を表す。Ⅱを履修できるのは、すでにⅠの単位を修得した者、およびそれと同程度の実力があると授業担当教員が認めた者に限られている。
アルファベット	授業科目名の後に記されたA、B、C、D、E、F、Gは授業科目の内容の違いを表す。したがって、Aのついた授業科目を履修しなくてもBのついた授業科目を履修できる。C、D、E、F、Gについても同様である。
履修年次	履修年次とは、その授業科目を履修できる学年の年次を表す。「2」と記されている授業科目は2年次のみ履修が可能である。「1・2」と記されている授業科目は1年次または2年次に履修できる。
併記科目	併記科目とは、共通科目を専門科目として、または専門科目を共通科目として履修できる授業科目のことである。備考欄に※印を付けて併記先が示してある。 併記科目を履修する際には、専門科目の単位とするか、共通科目の単位とするかWebの履修登録時に画面上で選択すること。
開放科目	開放科目とは、他学科の学生が履修できる専門科目のことである。修得した単位は卒業要件単位に数えられる。開放科目は、専門科目の下に別表で示されている。

共通科目履修上の注意

共通科目の各分野

共通科目として開設する授業科目は次の各分野に分けられている。

キリスト教
教 養
健 康

このうち、教養の分野の一部を除くすべての授業科目は学科の別なく、すべての学生に選択履修可能な授業科目として開講されている。下記の点に注意をして、履修計画をたてること。

卒業要件単位数

卒業に必要な共通科目の最低修得単位数（卒業要件単位数）は8単位である。

共通科目のうち、「キリスト教概論（2単位）」（2016・2017年度入学生）／「立教女学院とキリスト教（2単位）」（2015年度以前の入学生）及び「健康科学（2単位）」は、卒業に必要な必修科目である。

上記必修4単位のほか、教養科目から4単位以上を修得すること。

共通科目教育課程表 現代コミュニケーション学科(2016・2017年度入学生)

分野	科目番号	授 業 科 目	単位数		履修 年次	開講数		担当者	備 考 ※併記科目
			必修	選択		前	後		
キリスト教 科目	7001	キリスト教概論	2		1	2		田中 健三	必修・クラス指定
	7002	聖書と人間		2	1		1	布川 悦子	
	7003	キリスト教の文化		2	2		1	月本 昭男	
教 養 科 目	7004	いのちと心		2	1・2		1	若林 一美	※現代コミュニケーション学科専門科目 4 単 位 選 択 必 修 ※現代コミュニケーション学科専門科目 ※現代コミュニケーション学科専門科目 ※現代コミュニケーション学科専門科目
	7005	女性とキャリアデザイン		2	1・2		1	花野 泰子	
	7006	地域の文化		2	1・2		1	高根沢 紀子	
	7007	情報の倫理		2	1・2	1	1	関口 和真	
	7008	法と市民		2	1・2		1	村上 綱実	
	7009	情報と市民参加		2	1・2	1		秋元 みどり	
	7011	開発と環境		2	1・2		1	増田 敬祐	
	7012	自然科学概論		2	1・2	1		穴見 慎一	
	7013	からだの科学(健やかに生きる)		2	1・2		1	中村 有紀	
	8042	日本文学(文芸と女性)		2	1・2	1		高根沢 紀子	
	8043	日本文学(メディアと表現)		2	1・2		1	高根沢 紀子	
	7035	現代社会と政治		2	1・2	1		山口 正樹	
	7036	現代社会と経済		2	1・2		1	田中 裕之	
	7037	アニメーション文化論		2	1・2	1		高根沢 紀子	
7038	子どもと育児		2	1・2		1	東 智子		
7014	日本国憲法		2	1・2		1	村上 綱実		
7031	フランス語 I		1	1・2	1		梅比良 節子		
7032	フランス語 II		1	1・2		1	梅比良 節子		
7033	ドイツ語 I		1	1・2	1		五十嵐 豊		
7034	ドイツ語 II		1	1・2		1	五十嵐 豊		
健 康 科 目	7022	健康科学	2		1		2	中村 有紀	必修・クラス指定
	7023	体育実技A (テニス)		1	1・2	1		宇佐美 かおる	
	7024	体育実技B (バレーボール)		1	1・2		1	中村 有紀	
	7025	体育実技C (バドミントン)		1	1・2	1		鈴木 明	
	7026	体育実技D (ヨガ)		1	1・2		2	野村 賢吾	
	7027	体育実技E (トレーニング)		1	1・2	1		中村 有紀	
	7028	体育実技F (身体表現)		1	1・2	2	1	岡野 友美子	
7029	体育実技G (コンディショニング)		1	1・2		1	中村 有紀		

共通科目教育課程表 現代コミュニケーション学科(2015年度以前入学生)

分野	科目番号	授業科目	単位数		履修年次	開講数		担当者	備考 ※併記科目(2015年度入学生) 「読み替え科目」
			必修	選択		前	後		
キリスト教科目	7001	立教女学院とキリスト教	2		1	2		田中 健三	「キリスト教概論」必修・クラス指定
	7002	聖書と人間		2	1		1	布川 悦子	
	7003	キリスト教の文化		2	2		1	月本 昭男	
教養科目	7004	いのちと心		2	1・2		1	若林 一美	※現代コミュニケーション学科専門科目 4単位選択必修 ① 「法と市民」 「日本国憲法」 「現代社会と経済」 「自然科学概論」
	7005	女性とキャリアデザイン		2	1・2		1	花野 泰子	
	7006	地域の文化		2	1・2		1	高根沢 紀子	
	7007	情報の倫理		2	1・2	1	1	関口 和真	
	7008	法と市民(憲法含む)		2	1・2		1	村上 綱実	
				2	1・2		1	村上 綱実	
	7009	情報と市民参加		2	1・2	1		秋元 みどり	
	7010	現代国際政治経済		2	1・2		1	田中 裕之	
	7011	開発と環境		2	1・2		1	増田 敬祐	
	7012	自然科学と人間		2	1・2	1		穴見 慎一	
	7013	からだの科学(健やかに生きる)		2	1・2		1	中村 有紀	
	7031	フランス語 I		1	1・2	1		梅比良 節子	
7032	フランス語 II		1	1・2		1	梅比良 節子		
7033	ドイツ語 I		1	1・2	1		五十嵐 豊		
7034	ドイツ語 II		1	1・2		1	五十嵐 豊		
健康科目	7022	健康科学	2		1		2	中村 有紀	必修・クラス指定
	7023	体育実技A (テニス)		1	1・2	1		宇佐美 かおる	
	7024	体育実技B (バレーボール)		1	1・2		1	中村 有紀	
	7025	体育実技C (バドミントン)		1	1・2	1		鈴木 明	
	7026	体育実技D (ヨガ)		1	1・2		2	野村 賢吾	
	7027	体育実技E (トレーニング)		1	1・2	1		中村 有紀	
	7028	体育実技F (身体表現)		1	1・2	2	1	岡野 友美子	
	7029	体育実技G (コンディショニング)		1	1・2		1	中村 有紀	

①「法と市民」「日本国憲法」のいずれか1科目を「法と市民(憲法を含む)」として履修可能。ただし、すでに「法と市民(憲法を含む)」を修得済の者は履修不可。

2015年度入学生は、以下の科目を共通科目教養の4単位選択必修に参入できる。

分野	科目番号	授業科目	単位数		履修年次	開講数		担当者	備考 ※併記科目(2015年度入学生)
			必修	選択		前	後		
教養	8042	日本文学(文芸と女性)		2	1・2	1		高根沢 紀子	※現代コミュニケーション学科専門科目
	8043	日本文学(メディアと表現)		2	1・2		1	高根沢 紀子	※現代コミュニケーション学科専門科目

現代コミュニケーション学科専門科目履修上の注意

現代コミュニケーション学科専門科目

現代コミュニケーション学科の専門科目には、以下のような授業が用意されている。

<言語コミュニケーション>

コミュニケーションに必要なツールとしての言語系科目を学ぶ。

①英語と文化

- ・英語の基礎となる「読む・書く・聴く・話す」の4つのスキルを徹底的に学習する。
- ・トピックやテーマに基づいて、調査・発表を中心とした英語で発信する力を身につける。
- ・ツールとしての英語を使いこなすために、その背景にある英語圏文化について学ぶ。

②アジア言語と文化

- ・中国語の基礎を学び、簡単な日常会話を身につける。
- ・ツールとしての中国語を使いこなすために、その背景にある中国語圏文化について学ぶ。

③日本語と文化

- ・文章を的確に読み、論理的な国語表現を身につける。

<心理社会コミュニケーション>

個人的な会話からマスメディアによる情報伝達まで多様なレベルでのコミュニケーション過程を幅広く取り上げ、心理学を基礎として人間関係や社会との関わりについての理解を深める。

①対人コミュニケーション

- ・個人間のコミュニケーションといったミクロな視点を中心にさまざまな人間関係の様相や社会の成り立ちについて学ぶ。

②社会コミュニケーション

- ・集団や組織、文化や国際関係といったマクロな視点に基づいて社会情報の流れやメディアの役割、影響力などについて学習する。

<コミュニケーション・スキルズ>

コミュニケーションの実践にかかわる科目を学ぶ。

- ・大学での学習の基礎となる思考力を身につけ、論文・レポートの書き方やプレゼンテーションの方法などのアカデミック・スキルズを学ぶ授業。
- ・就職、留学、進学など卒業後の進路について、具体的目標の実現を支援する授業。
- ・コンピューターや他のICTの使い方を学ぶ授業。
- ・サービスマーケティング活動を通して他者とのかかわり、社会貢献・奉仕について学ぶ授業。

学習計画の立て方
(2015・2016・2017
年度入学生)

学生は下記(1)～(7)にしたがって、自分の目標にあった学習計画を立てること。

(1) 下記の表が示すように、指定されている必修科目（22単位）は、全員修得する。

領域	区分	授業科目	配当年次	単位数
言語コミュニケーション (11単位)	英語と文化	英語リーディングⅠ	1年前期	1単位
		音読トレーニングⅠ	1年前期	1単位
		英語演習Ⅰ	1年前期	1単位
		英語演習Ⅱ	1年後期	1単位
		コミュニケーション英語A	1年前期	1単位
		コミュニケーション英語B	1年前期	1単位
		コミュニケーション英語C	1年後期	1単位
		コミュニケーション英語D	1年後期	1単位
	アジア言語と文化	中国語Ⅰ	1年前期	1単位
	日本語と文化	日本語コミュニケーション	1年前期	2単位
心理社会 コミュニケーション (4単位)	対人コミュニケーション	対人コミュニケーション	1年前期	2単位
	社会コミュニケーション	現代社会とメディア	1年後期	2単位
コミュニケーション・スキルズ (7単位)		サービスラーニング入門	1年前期	2単位
		情報コミュニケーション	1年前期	1単位
		キャリア・ライフ・デザイン	1年前期	2単位
		スタディスキルズ	1年後期	2単位
合計				22単位

(2) 下記に示す言語コミュニケーション領域の指定されている科目の中から最低1単位（選択必修科目）を、全員修得する。

区分	授業科目	配当年次	単位数
英語と文化	英語リーディングⅡ	1年後期	1単位
	音読トレーニングⅡ	1年後期	1単位
アジア言語と文化	中国語Ⅱ	1年後期	1単位

(3) 下記に示す言語コミュニケーション領域の指定されている科目の中から最低2単位（選択必修科目）を、全員修得する。

区分	授業科目	配当年次	単位数
英語と文化	総合英語A	2年前期	2単位
	総合英語B	2年後期	2単位
	プレゼンテーション英語A	2年前期	2単位
	プレゼンテーション英語B	2年後期	2単位

- (4) 下記に示す心理社会コミュニケーション領域の中から最低2単位（選択必修科目）を、全員修得する。

区分	授業科目	配当年次	単位数
対人コミュニケーション	社会行動の心理	1・2年後期	2単位
	カウンセリング（傾聴）と心の健康	1・2年後期	2単位
	コミュニティと組織の心理	1・2年後期	2単位
	家族関係の心理	1・2年後期	2単位
	生涯発達の心理	1・2年後期	2単位
社会コミュニケーション	異文化コミュニケーション	1・2年前期	2単位
	リスクコミュニケーション	2年後期	2単位
	ジェンダーとコミュニケーション	2年後期	2単位
	国際コミュニケーション	1・2年前期	2単位
	コミュニケーション表現と効果	1・2年後期	2単位

- (5) 言語コミュニケーション・心理社会コミュニケーション領域の中から最低13単位（選択必修科目）を、全員修得する。上記(2)・(3)・(4)の単位を含む。
- (6) 下記に示すコミュニケーション・スキルズ領域の選択科目の中から最低3単位（選択必修科目）を、全員修得する。ただし、「女性とキャリアデザイン」「子どもと育児」（2016・2017年度入学生のみ履修可）は除く。

区分	授業科目	配当年次	単位数
コミュニケーション・スキルズ	情報処理演習（ワード）	1・2年前後期	1単位
	情報処理演習（エクセル）	1・2年前後期	1単位
	情報処理演習（パワーポイント）	1・2年後期	1単位
	サービスラーニング	1・2年後期	2単位
	卒業研究セミナーⅠ	2年前期	2単位
	卒業研究セミナーⅡ	2年後期	2単位
	海外フィールドワークA } ①	1・2年前期	2単位
	海外フィールドワークB }	1・2年前期	2単位

①2015・2016年度入学生は「海外フィールドワークA」「海外フィールドワークB」のいずれか1科目を「海外フィールドワーク」として履修可能。

- (7) 卒業要件単位の64単位のうち、「共通科目」8単位、「専門科目」の必修科目（22単位）・選択必修科目（16単位）合計38単位を除くと18単位となる。残りの18単位については自由選択として、共通科目、専門科目、開放科目、立教大学全学共通カリキュラム科目の中から修得する。
- (8) 次に示す授業科目の系列については、受講者の数を制限する場合がある。

言語コミュニケーション 30名

コミュニケーション・スキルズ 40名

学習計画の立て方
(2013・2014年度入学生)

学生は下記(1)～(4)にしたがって、自分の目標にあった学習計画を立てること。

(1) 下記の表が示すように、指定されている必修科目（22単位）は、全員修得する。

領域	区分	授業科目	配当年次	単位数
言語コミュニケーション (11単位)	英語と文化	基礎リーディングⅠ	1年前期	1単位
		音読トレーニングⅠ	1年前期	1単位
		英語演習Ⅰ	1年前期	1単位
		英語演習Ⅱ	1年後期	1単位
		英語コミュニケーションA	1年前期	2単位
		英語コミュニケーションB	1年前期	2単位
	アジア言語と文化	中国語Ⅰ	1年前期	1単位
	日本語と文化	日本語コミュニケーション	1年前期	2単位
心理社会コミュニケーション (4単位)	対人コミュニケーション	対人コミュニケーション	1年前期	2単位
	社会コミュニケーション	現代社会とメディア	1年後期	2単位
コミュニケーション・スキルズ (7単位)		スタートアップセミナー	1年前期	2単位
		情報コミュニケーション	1年前期	1単位
		キャリア・ライフ・デザイン	1年前期	2単位
		サービスラーニング入門	1年前期	2単位
合計				22単位

(2) 下記に示す心理社会コミュニケーション領域の中から最低2単位（選択必修科目）を、全員修得する。

区分	授業科目	配当年次	単位数
対人コミュニケーション	社会行動の心理	1・2年後期	2単位
	カウンセリング（傾聴）と心の健康	1・2年後期	2単位
	コミュニティと組織の心理	1・2年後期	2単位
	家族関係の心理	1・2年後期	2単位
	生涯発達心理	1・2年後期	2単位
社会コミュニケーション	異文化間コミュニケーション	1・2年前期	2単位
	リスクコミュニケーション	2年後期	2単位
	ジェンダーとコミュニケーション	2年後期	2単位
	国際コミュニケーション	1・2年前期	2単位
	コミュニケーション表現と効果	1・2年後期	2単位

(3) 卒業要件単位の64単位のうち、「共通科目」8単位、「専門科目」の必修科目・選択必修科目24単位を除くと32単位となる。残りの32単位については自由選択として、共通科目、専門科目、開放科目、立教大学全学共通カリキュラム科目の中から修得する。

(4) 次に示す授業科目の系列については、受講者の数を制限する場合がある。

言語コミュニケーション 30名

コミュニケーション・スキルズ 40名

現代コミュニケーション学科専門科目教育課程表 (2013・2014年度入学生)

科目 区分	科目 番号	授 業 科 目	単位数		履修 年次	開講数		担当者	備 考 「」内の科目で読み替え
			必修	選択		前	後		
言 語 と 文 化	8001	基礎リーディングⅠ	1		1	6	有満・原田(慎)・高見・瀧野・丸岡・坂井	「英語リーディングⅠ」	
	8002	基礎リーディングⅡ		1	1	6	有満・原田(慎)・高見・瀧野・町田・小野田	「英語リーディングⅡ」	
	8003	音読トレーニングⅠ	1		1	6	原田(慎)・高見・山口(高)・町田・小野田・坂井		
	8004	音読トレーニングⅡ		1	1	3	山口(高)・越智・坂井		
	8005	英語演習Ⅰ	1		1	6	有満・原田(慎)・高見・町田・小野田		
	8006	英語演習Ⅱ	1		1	6	有満・原田(慎)・高見・山口(高)・町田・小野田		
	8007	英語コミュニケーションA	2		1	12	原田(慎)・瀧野・山口(高)・丸岡・越智・Lockhart・Snell	「コミュニケーション英語A・B」	
	8008	英語コミュニケーションB	2		1			2017年度休講	
	8009	英語コミュニケーションC		2	1			2017年度休講	
	8010	英語コミュニケーションD		2	1	12	高見・瀧野・山口(高)・丸岡・Lockhart・Snell	「コミュニケーション英語C・D」	
	8101	総合英語A	2		2	2	有満 麻美子・越智 健太郎		
	8102	総合英語B	2		2	1	越智 健太郎		
	8011	プレゼンテーション英語A	2		2	4	瀧野・Kleindl・坂井・Snell		
	8012	プレゼンテーション英語B	2		2	4	瀧野・Kleindl・坂井・Snell		
	8103	ビジネス英語A	1		2	1	瀧野 みゆき		
	8104	ビジネス英語B	1		2	1	瀧野 みゆき		
	8013	観光英語A	1		1・2	1	山口 高領		
	8014	観光英語B	1		1・2	1	山口 高領		
	8015	児童英語A	1		1・2	1	下 薫		
	8016	児童英語B	1		1・2	1	下 薫		
	8017	秘書英語A	1		1・2	1	山口 高領		
	8018	秘書英語B	1		1・2	1	山口 高領		
8105	実用英語A	1		1・2	1	原田 慎一			
8106	実用英語B	1		1・2	1	原田 慎一			
8019	アカデミック英語A	2		1・2	2	秋元 みどり・花野 泰子			
8020	アカデミック英語B	2		1・2	2	有満 麻美子・佐々木 掌子			
8021	アメリカ文学と社会	2		2	1	有満 麻美子			
8022	イギリス文学と社会	2		2	1	高見 陽子			
ア ジ ア 言 語 と 文 化	8023	中国語Ⅰ	1		1	6	宮本・渡邊・嚴・李		
	8024	中国語Ⅱ		1	1	4	宮本 めぐみ・渡邊 奈津子		
	8025	中国語演習		1	1・2	1	李 菲		
	8026	中国語コミュニケーションⅠ		1	1・2	4	宮本・田・馮		
	8027	中国語コミュニケーションⅡ		1	1・2	2	田 園・嚴 馥		
	8028	中国語文法Ⅰ		1	2	2	田 園・嚴 馥	「ビジネス中国語Ⅰ」	
	8029	中国語文法Ⅱ		1	2	1	田 園	「ビジネス中国語Ⅱ」	
	8030	中国語講読		1	2	1	宮本 めぐみ		
	8031	中国語中級Ⅰ		1	2	1	馮 小喆		
	8032	中国語中級Ⅱ		1	2	1	馮 小喆		
	8033	朝鮮語Ⅰ		1	1・2	2	稲毛 恵		
	8034	朝鮮語Ⅱ		1	1・2	2	稲毛 恵		
	8035	中国の文化と社会		2	2	1	宮本 めぐみ		
	8036	日中比較文学		2	1・2	1	宮本 めぐみ	「中国文学」	

科目区分	科目番号	授業科目	単位数		履修年次	開講数		担当者	備考 「」内の科目で読み替え	
			必修	選択		前	後			
言語コミュニケーション	日本語と文化	8037	日本語コミュニケーション	2		1	6	高根沢 紀子・原田 桂		
		8038	文章表現 A(小論文)		2	1・2		1	原田 桂	
		8039	文章表現 B(ビジネス文書)		2	1・2	1	1	高根沢 紀子・原田 桂	
		8040	ビジネス・コミュニケーション		2	1・2		2	花野 泰子	
		8041	日本の文化と社会		2	1・2		1	真下 美弥子	
		8042	日本文学(文芸と女性)		2	1・2	1		高根沢 紀子	
		8043	日本文学(メディアと表現)		2	1・2		1	高根沢 紀子	
心理社会コミュニケーション	対人コミュニケーション	8044	対人コミュニケーション	2		1	2	佐々木 掌子	必修以外に 選択必修2単位 「異文化コミュニケーション」	
		8045	社会行動の心理		2	1・2		2		佐々木 掌子
		8046	カウンセリング(傾聴)と心の健康		2	1・2		1		逸見 敏郎
		8047	コミュニティと組織の心理		2	1・2		1		浅井 健史
		8048	家族関係の心理		2	1・2		1		佐々木 掌子
		8107	生涯発達の心理		2	1・2		1		佐々木 掌子
	社会コミュニケーション	8049	現代社会とメディア	2		1		2		萩原 滋・花野 泰子
		8050	異文化間コミュニケーション		2	1・2	1			井上 美砂
		8051	リスクコミュニケーション		2	2		1		大坪 寛子
		8052	ジェンダーとコミュニケーション		2	2		1		國廣 陽子
		8053	国際コミュニケーション		2	1・2	1			萩原 滋
	8054	コミュニケーション表現と効果		2	1・2		1	兼高 聖雄		
コミュニケーション・スキルズ	8055	スタートアップセミナー	2		1				2017年度休講	
	8066	情報コミュニケーション	1		1	6		大野 志郎・藤本 隆史		
	8067	情報処理演習(ワード)		1	1・2	1	2	大野・佐々木・植竹		
	8068	情報処理演習(エクセル)		1	1・2	1	1	大野 志郎・植竹 美乃里		
	8069	情報処理演習(パワーポイント)		1	1・2		1	大野 志郎		
	8070	キャリア・ライフ・デザイン	2		1	2		花野 泰子		
	8071	サービスラーニング入門	2		1	1		秋元・有満・萩原・原田(慎)・佐々木・高見・山口(高)		
	8072	サービスラーニング		2	1・2		1	秋元・有満・萩原・花野・高見		
	8108	卒業研究セミナーⅠ		2	2	6		有満・花野・原田(慎)・佐々木・高見・高根沢		
	8109	卒業研究セミナーⅡ		2	2	6		有満・花野・原田(慎)・佐々木・高見・高根沢		
	8073	海外フィールドワーク		2	1・2	1		秋元 みどり・花野 泰子	「海外フィールドワークA」 「海外フィールドワークB」	
					1		宮本 めぐみ			

①「海外フィールドワークA」「海外フィールドワークB」のいずれか、1科目を「海外フィールドワーク」として履修可能。

現代コミュニケーション学科の学生が卒業要件単位として履修できる幼児教育科専門科目(開放科目)

科目区分	科目番号	授業科目	単位数		履修年次	開講数		担当者	備考
			必修	選択		前	後		
開放科目	3054	児童文学		2	1・2		1	高根沢 紀子	2017年度休講
	3055	子どもと民俗文化 A		2	1・2				
	3056	子どもと民俗文化 B		2	1・2		1	真下 美弥子	